

## 岡 御殿場市で新総合事業 静 多世代集う地域の拠点に

静岡県御殿場市でデイサービスを運営する陽向(静岡県御殿場市)は4月17日、新総合事業にも対応した地域交流施設「晴れテラスごてんば」をオープンした。同市内では初の新総合事業で、市長・副市長も開設式に参加するなど、市としても期待度の高い事業が始まった。



陽向 渡辺英一社長



▲開設式には若林洋平御殿場市長も参加

2階建ての空き家を改修して作られた「晴れテラスごてんば」は静岡県御殿場市で初めて新総合事業に取り組み施設。フィットネス、対象者を問わないカフェ、水素サロン、フリースペースがあり、居宅介護支援事業所も併設する。週に1回は認知症カフェも開催する。

地域交流施設だ。4月17日に行われた開設式には御殿場市の若林洋平市長も参加した。開設式で若林市長は「新総合事業は介護が必要な状態にならないよう国が推進するもので、御殿場市としても力を入れる事業。より多くの方々に健康寿命を伸ばしてもらいたい」と挨拶した後、施設内を見学した。

過去に医療法人や介護事業所に勤務した経験もあるという若林市長は「自宅で暮らし続けられる高齢者を増やすためにはこのような施設が必要だ。世代間交流も行われるような地域を元気にする施設であってほしい」と期待を寄せ、御殿場市のモデルケースになることを望んだ。



▶フィットネススペース。奥にはカフェスペースを設けた



▶2階にあるフリースペース。多様な使い方を地域に提案していく

### 介護 事業者 TOPICS

行政と密に連携事業の確立目標

建物1階はフィットネス、テラスカフェ、水素サロンのスペース。毎週木曜日には認知症カフェも開催する。

高齢者施設でも多用されているリフトレナー、レッドコードに加えリカンベントバイク、さらにはトレニング効果が伝わりやすいよう体組成測定器を揃えたフィットネスは1回500円で月・水・金曜日の17時〜20時、火・木・土曜日の10時〜21時の時間帯に利用できる。また、月・水・金曜日の10時〜12時と13時〜15時については、要支援認定者が通う新総合事業に特化した通所型サービスを行う場になる。

コーヒーマシンなどを設置し18人程度が座ることのできるテラスカフェは地域住民の交流の場として若者から高齢者まで幅広い層の利用を促す。本格的な水素吸入器を導入した水素サロン(定員2人)は完全予約制で60分2000円の料金設定。美容や健康維持に関心のある人の利用を見込む。

建物2階には居宅介護支援事業所を併設させ、1時間500円で利用できる和室のフリースペースも設けた。

2年前から自費サービスを検討してきたという渡辺英一社長にとって、晴れテラスごてんばの取り組みは今後の占う試金石となる。「フィットネスで運動教室を実施していくことも考えられる」(渡辺社長)。

渡辺社長と話すように元気な地域づくりに貢献する事業で介護保険に頼らない事業を確立することが目標だ。そのため行政とも密に連携し、「御殿場市とともにまずは新総合事業を作り上げていきたい」(渡辺社長)。